



こそだて通信

かしのき保育園 2010年度 No.4

==日々の営み==

No.2 のお便りでは『お子さんの気持ちを受け入れ向き合うこと』の大切さを、前回のお便りでは、『ご両親がお子さんの成長を見据え導くこと』が社会性を育てる上では大切だ、ということをお伝えしました。

きっと皆さんその時々によって、どうしようかな、と迷われながらお子さんと接していらっしゃると思います。

ちょうど先日のくらし展では、お子さんの成長に合わせた、日々の中で大切にしている関わりを、「育児（食事・睡眠・排泄・着脱・清潔）」のテーマに沿って、かわいらしい写真と共に紹介されていましたね。

生活習慣に関する日々の営みは、お子さんの気持ちを受け止めるだけではうまくいかない部分が多くあるように思います。

ですが、お父さんお母さんの『こうなってほしい』という思いをハッキリ伝えたとしても、素直に「ハイ」と聞き入れてはくれないのが子どもというものです。園ではちゃんと出来ているみたいなのに、家では言うことを聞いてくれない、という場合も多いでしょう。

そんな時、親の思いを伝え続けるのもエネルギーがいるし、「いやいや」を聞いているこちらがイヤになってくる。それに、泣かれるといたたまれないし、言うとおりにしてしまったほうが楽だ、という気持ちになってしまうことも時にはあるかもしれません。

なかなか思うようにはいかない毎日ですが、ただ、大人が「どうしてこんな様子(大人が望まない態度)なのかな」と考えることは、どんな時もお子さんにどう対応すればいいかのヒントになると思います。

成長の段階なのかな、体調が悪いのかな、甘えたいのかな、最近頑張りすぎているのかな、私を試しているのかな、など何か思い当たることがあるでしょう。時には保育士の客観的な意見も参考になるかもしれません。

自分の気持ちが徐々にコントロールできるようになり、言葉で気持ちを表現できるようになり、生活習慣が身につく時期になれば、毎日はぐっと楽になるでしょう。

それまでのわずかな時間と違って、時にはストレス発散をしながら毎日を乗り切ってください。

(担当：藤井あづさ)